

高退協ニュース

高退協総会開く

新役員に渡辺正子さん
2005年度高退協総会が、4月16日に教育会館3Fの県教組会議室で33名の会員が集まりひらかれました。

議長に鎌田伸一さんを選出、昨年度亡くなられた7名の方のご冥福を祈り黙祷しました。岡崎会長から、憲法9条を守り発展させる、9条の会の取りくみ、機関誌「こうたいきょう」の発行などに触れ、挨拶しました。また、高教組倉橋委員長から連帯の挨拶がありました。

議案審議では、補強意見や質疑があり、議案・決算・予算を承認し、新役員を選び閉会しました。

2005年度役員

- | | |
|-----------|--|
| 会長 | 和田 明 |
| 副会長 | 林 応子 中川正路 |
| 事務局長 | 原 淳 |
| 常任委員 | 坂本敏子 西田令子 上岡 積 小島真子 三谷隆彦 田所昌澄 小沢幸次郎 |
| 河村幸恵 森下芳文 | |
| 中村正博 渡辺正子 | |
| 監査委員 | 山脇正照 千葉繁之 |
| 顧問 | 浜田昌俊 中岡鉄夫 |
| 岡崎清恵 | |
| 役選委員 | 窪田充治 加藤 菊 南千加良 |

活動日誌

【3月】

- 19日 山原資料室建設事務局会
- 27日 西森元義さんの葬儀
- 30日 「こうち9条の会」主催講演会

【4月】

- 1日 役員選考委員会
- 5日 定例事務局会
- 9日 山原資料室建設事務局会
- 13日 「山の会」総会

第76回

ミーティング

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義中立の日本をめざそう！」のスローガンをかけて、第76回ミーティング高知県中央集会在5月1日午前9時から高知市中央公園で開かれました。強い雨の中、二十団体千人（高退協15人）が参加しました。

主催者挨拶で県労連の高橋委員長は、憲法をめぐる情勢にふれながら、平和憲法を擁護し九条改悪を阻止しようと強く訴えました。また核兵器廃絶を強調し、JR脱線事故については利益第一主義の経営方針を批判しました。続いて、春名前衆院議員、こうち九条の会の栗原代表などから来賓挨拶があり、各界代表の決意表明の後、スローガン・集会宣言を採択して閉会しました。

その後、デモ行進に移り、デコレーションやプラカードを手にし、シュプレヒコールを交えながら、大雨のなか街中を行進しました。プラカードコンクールでは、高退協は三位に入賞しました。これは、前月29日に、中岡鉄夫顧問など八名の会員が集まり作成したものです。

「九条を守れ」の色彩が強かった05ミーティングの後、恒例の高教組・高退協合同の交流懇親会が開かれ、40人余りが杯を交えながら楽しいひとときを過ごしました。

退任のご挨拶

感謝の気持ちでいっぱいです
前会長 岡崎清恵

今年の定期総会で、和田明さんに会長職をお願いしました。ご支援、協力本当に有難うございました。

一九九一年に定年退職と同時に高退協に加入、委員となりました。以来十四年間、事務局をやらせて頂き、お陰でボケもせず楽しく元気に過ごせた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

思い出としては、毎年参加した一泊二日の研修親睦旅行です。初めの頃は家内も参加させて貰い、随分見聞を広めることができました。中田四一先生をはじめ旅行係の先生にはお世話様でした。

また、機関誌「こうたいきょう」では、浜田昌俊先生からバトンタッチを受け13号から25号迄、編集責任者として、原稿や広告依頼で多くの方に「ご支援、協力を頂戴しました。」

会長として、慶弔係を務め、入院見舞や死亡見舞に行く機会が多くありました。中田先生や小川和俊先生の葬儀では弔辞を述べさせて頂いた思い出もあります。

ともあれ、仲間の皆様のご支援、協力により、大過なく務められました。

今後、顧問として残ることにしています。変らぬご交誼をお願いし、退任の言葉と致します。合掌。

健やかで楽しい老後を

高退協結成30年を迎えました。お互い協力して楽しい組織にしていきたいよう、夏季学習会・秋の旅行・望年会等々、会員の1割以上の参加を目指し取りくんでいます。

15名の事務局員に、取りくみたいこと、やってもらいたいこと等、声をかけてください。岡崎会長から引き継ぎました、よろしくお願いします。

和田 明

高知高退協事務局
2005.5.11
No.134

高知県高等学校退職教職員協議会
〒780-0850 高知市丸の内2丁目1-10
TEL 088-1822-1682
TEL 088-1822-1682
郵便振替口座 01665012111893

老声草

毎朝毎日の新聞やテレビのニュースを見聞きする度に、滅入ったり、腹が立つたりの連続です。こんな日本になると

は思いもよらなかつた。小泉自公内閣の四年間、私たち庶民の暮らしは、年ごとに悪化しています。年金、医療、介護、税金のどれをとってみても負担増と給付減。これからも七兆円の負担増、それに消費税増税の声。

こうした暗い情勢の中で「九条の会」が、全国的に誕生し、講演会の成功が伝えられることや、東京での「憲法・教育基本法改悪反対万人集会」の大成功は大きな激励と勇気を与えてくれました。

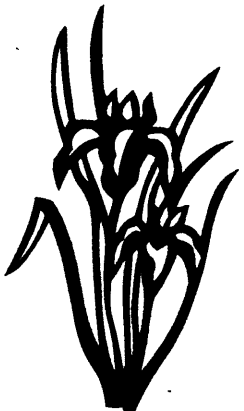
また、一九五五年四月のバンドン会議以来五十年ぶりに開かれた「アジア・アフリカ首脳会議」の成功のニュースにも希望が湧いてきました。

「バンドン会議十原則」は着実に実践され、アジア・アフリカでの植民地解放と民族独立の流れは、とうとうとして、百万国余りの代表が国連憲章を基礎にして平和と発展をめざすアピールが採択されたことは、人類の英知を示しています。

小泉首相は、アジアの諸国に対して「反省とおわび」を述べましたが、国内では、憲法9条改悪の策動や与党・民主党などの国会議員八十名が靖国神社を参拝する等全く矛盾した行為をしており、各国から言行不一致と不満と怒りの声があがるのは当然です。

誰の目にも、その欺瞞性は明らかです。

国際的信用をかちとるためにはもとより、私達の平和と暮らしを守るためにも、今後いっそう団結して運動を強めなければならぬと痛感します。(岡崎)



「二十一世紀に輝け 憲法九条高知の夕べ」に 一四〇〇人

立場の違いを超えた幅広い市民が憲法改悪反対の一点で共同する「こうち九条の会」は、全国「九条の会」よびかけ人の作家・小田実さんを招いて、三月三十日、県民文化ホール・オレンジで開かれました。

「こうち九条の会」筆頭代表の栗原透さんは、「憲法改悪の動きは待ったなしの状況。九条の会は県下に広がっており、改悪反対の世論は強い。高知から全国へ運動を提起しよう」とあいさつ。元自民党県連総務会長の梅原一前須崎市長が、自らの戦争体験を振り返り命を大切にすることを教育と憲法改悪阻止を訴えました。

小田さんは自らが13歳の時に受けた大坂空襲の体験を紹介しながら「戦争を知らない大人たち」が改憲を叫んでいるが、日本国憲法は、アジアへの加害と被害という体験をした日本が、戦争を反省し理想的な世界を戦争でなく平和的手段でつくろうと呼びかけた世界に冠たるもの。民主主義と平和が結合した「世界平和宣言」と日本国憲法を守り抜く大切さを訴えました。

集会では三木睦子さん(故三木武夫元総理の妻)から寄せられた「絶対に再び戦争はしてはいけない」と呼びかけるビデオメッセージが紹介され、高知センター合唱団が「憲法9条の歌」を合唱。高知大学の学生らが土佐弁や広島弁など自分の言葉で日本国憲法を読み上げました。

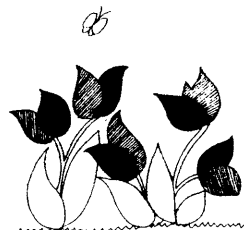
川柳 小澤 幸泉

一路集② 一 生きる・平和・くらしー

それなりに大人を目指す茶髪の娘 九条がさげぶ戦傷見せながら 幸思ふまだ見ぬ父母の哀しみを 年金がにげる財布をあげよう この祈り憎いお方に届けたい



老眼鏡



「万葉余滴 やまとことば 我樂苦多覚書」

岩松空一著

岩松先生は私には高校時代の恩師だが、元同僚という方もおいでだろう。大学に移られ、万葉集一筋に研究、著作も多い。去年表題の本を出版なさった。

万葉集を中心にやまとことばの語源を易しく述べたもので、国語の教師だった私は、目からうろこ、現職でないことが残念だった。

おきな、おうな、むすこ、むすめ、をとこ、をとめ、をこの、めのこ、をひ、めひ、こう並ぶと、どこが男女を示しているかはつきりわかるだろう。

「な」という語は、①副食物(菜、魚)、②名前・字(なる、仮名)、③刃(かたな、かんな)、④時間(朝な夕な、行きしな帰りしな)などと使用例からきちんと分類できる。「毛のもの」が「けたもの」であり、「く(木)のもの」が「くだもの」であると知るとなんだかおかしい。「だ」は「の」と同じ。

「つ(づ)」も「の」と同じ意味で、「石鏝山」の「ち」は「神」を示す。山を石の神と尊んでいるのだ。「いかづち」も「いかめしいの神」で雷様。読み進むと、同じように出てくる言葉はないか自分で類推したくなる。

昔、酒は米を嚼んで発酵させて作った。その不思議に古人は霊力を感じ、「嚼む」が「神」の語源になったのだからと先生は考えていられる。また「師走」の「し」は「風」をさし、風が強くと吹きまくる月だとおっしゃる。ほんと、十二月になぜ教師や坊主が走り回るのか、皆さん、不思議ではありませんでしたか。

簡略化して述べたが、本では、万葉集中の事例を挙げつつ緻密に論証されていて、日本語の奥行きが広がる。日本語の語源と推移を知ると楽しいことでした。 坂本敬子

「山原資料室」建設について

山原氏を亡くして、早くも一年が経ちました。その一周忌(三月八日)に「資料室展」を開きましたところ、連日多数の御来場いただき、極めて意義深い催しと成りました。

昨年十二月から「山原資料室」建設(目標 三〇〇万円)への募金活動を始めていますが、現在約一千二百万円(目標額の40%)に達しました。

これが大変ですが、なんとか目標を達成して、立派なものを作りたく存じます。

どうか、一層の御理解御協力をお願い申し上げます。(浜田)

私の健康談

河村 幸恵

若年退職してから、心身ともにストレスから解放されたのか、年令のせいもあるのか、若い頃は何を食べても太らなかつた自分の身体が、月がたつ毎に体重が増加、贅肉がたつぷりについてしまいました。これ以上隠れ肥満になつてはいけない、ちよつと身体を動かさないかんと決心し、4月からトレイル・ラング・ジムに通っています。まだ3回しか行つてないので効果なし！

指導員に「筋肉をつけないうん」と言われました。それまでは、犬のおかけで毎日城西公園へ高知城まで散歩していましたが、老犬になり遠くまでは行けなくなって、今は城西公園だけで済ませているので、歩く時間も短くなりました。人間、足腰から弱つてくると、人それぞれかもしませんが、なるだけまわりの景色を楽しみながら、ウォーキングを心がけるようにしています。好きな山も行きたいし、旅先の知らない街を歩き回る事も好きだし、これからは脚力をつけていこうと思つています。半年後の私がどうなるか？せめて今の体重より増えたくありませんので現状維持かダウンを願っています。

俳句

1月5日(水) 南国市十市

琴平神社・劍尾神社

合田 青幹

寒の水備ふ社の防火桶 広前の隈なく掃かる初社

吉本 伸秋

初日燦風雪きさむ梁の龍 額づけば哀し荒れゆく春の宮

中内 英明

酉年の社頭に仰ぐ鷹一羽 めでたさや梅の含みのうす緑

中内 みち代

陸近く漁の船五日かな 玉垣に往時の栄え初社

小笠原 さちを

千木の空鷲旋回風に乗る 根こそぎの倒木神の山眠る

3月26日(土) 南国市 国分寺

土佐山田町 鏡野公園

合田 青幹

踏青や一步ためらふ犬ふぐり 大の字に寝て春昼をほしいまま

田所 たねを

冴え返り冴返りまだ冴え返る 万年も生きてたまるか亀の鳴く

吉本 伸秋

なほ奥へ寺領の土塁巨蛙 粗鋤きの土に潮れて咲く紫雲英

中内 英明

種植糸の土ほこほこや生葉畑 環路と詠みし師は亡し土佐木木

中内 みち代

踏青の一步の軽し工科大 陽炎へる一直線の並木道

小笠原 さちを

花未だ古刹彩る諸葛菜 水温む鱗ゆつたりと水を掻く

今、高教組は

高教組執行委員長 倉橋楠雄

「日本の学力、世界トップの座から落ちる」

国際教育到達度評価学会などの国際的な「学力調査」の結果が昨年一二月に発表され、国内の新聞各紙は冒頭の見出しで大々的に報道しました。そして、文科省の教育政策に厳しい批判が集中しました。

一方、今回の調査で上位にランクされたフィンランドの教育に世界中の教育界から注目が集まっています。フィンランドでは、八〇年代から日本・韓国の教育を批判的に研究し、九四年にジュネーブで開かれた国際公教育会議が採択した宣言「教育は人権を尊重し、断固として平和と民主主義の文化へと導く知識、価値、態度、技能を促進すべきものである」を基礎とした教育改革をすすめました。いくつもの政策を列挙しますと、

- 教育への平等の機会
- 性差別の皆無
- 教育が総体的に無償
- 総合的非選別的基礎教育
- 発展志向評価と生徒の評定（テストも序列リストもない）

秦東寺残日録

坪井 幹之

いざ、アルプス、ヒマラヤへ

三月十三日、新調のキヤラバンシューズを履いて散歩へ。最近、下駄履きは止めた。筋力の衰えでよろめくのと、下駄の素材も脆くなつて長持ちしなくなつたからである。帰宅後ワープロに向かった。とりあえず前号の続きを書こう。

あれからも真面目に通院、加療の結果、やっと先日「無罪、放免」となったが、この病は持病になる恐れがある、暫く投薬だけは続けよ、とのことであった。とにかく一応危機は脱したわけである。痛みがやわらいでから、ずっと山歩きは続けてきていた。二月二十七日には、「山の会」の例会・五台山のミニ八十八カ所巡りにも参加、三月には、五時間半かけて、自宅から土佐山宮ノ久保間往復の北山越えをこなした。

そうこうする内に、富士国際旅行社より今年度の旅行計画のパンフが送られてきた。目を通していろいろうちに、再度

● 高度の資質を備えた自主性を持った教師等々です。こうしてみると、我が国の教育基本法の目指すものは決して特殊なものではなく、世界的視野で見れば普遍的かつ最先端の理念であり、「学力問題」解決の基本方向が、教育基本法を生かすことだといえます。

一方、文科省は中教審に対して「義務教育改革」と学習指導要領の見直しを諮問し、今秋までに諮問を求めています。しかし、これは教育基本法改悪の先取りであり、競争の教育をいっそう深刻にして、子ども・教職員をますます苦しめるものです。

私たちは、学力問題、高校再編、統廃合問題など父母や地域の人々の教育への関心と結びついた対話を広げ、教育基本法の改悪を許さず、教育基本法を生かす教育活動を生かす取り組みをすすめていきたいと思ひます。

最後になりましたが、先日の「三・二六教育基本法改悪阻止全国大集会」代表派遣に対し心のこもったカンパ、誠にありがとうございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

海外の旅に挑戦してみようという気になった。検討の結果、二つに上って予約を入れた。

モンブランとランタン谷である。モンブラン周辺は二度ほど訪れているが、今回応募したプランはイタリヤ側のトレッキングで、三大北壁の一つグランド・ジヨラスが魅力的である。最初にアルプスを訪れた際シャモニーの谷越しにこの山を見たが、山頂には雲がかかり、黒々とした山体をちらっと拝見しただけで終わっている。ヒマラヤ・ランタンの谷は昨年参加を希望したが、大水害による交通途絶で計画は流れた。「世界で最も美しい谷」と喧伝されているので一度は行ってみたい。老いによる弱体化が急速に進んでいる身、海外での山歩きも終焉が近いように思えるので、今年は何んとか体調を整えて参加しようと、あまり自信はないが決意した次第。

登山と読書が生きて甲斐になっているが、この二つの趣味の結節点は登山関係の本を読むことである。文化的辺境の地土佐では、この種の図書が手に入り難い。自然と再読に

短歌

春爛漫

高知市浄水道の桜花

榊原 忠彦

入退院くり返しつつ待ちかねし
開花目に見ゆるるさとの丘
桜花見むと登りし天神山真東に
城は障りなく見ゆ

つひの日に悔いあらむ水道山
満開の桜花よなく見しを

初夏めく陽光

叶岡 淑子

頬のあたり引きつづけるよと友の
言う花吹雪舞う公園の午後
散り敷きて踏まれてなほも薄紅
のひとひらごこの花のいのちよ
見上ぐれば葉桜透かし紺青の空ま
らきらと初夏めく陽光

教え子の死

山本 晶子

交通事故にて死にしMくん紛れも
なき吾のクラスの生徒 記事を切
り抜く

道迷いようよう着きしMくんの家
の前にて息を整う

父母のなかりし生徒なるが妻子
らと睦みし写真貼られてありき



なる。最近、手にしたものを挙げてみると、辻村伊助の

「スウイス日記」新田次郎の「アルプスの谷、アルプスの村」それに横有恒の「わたしの山旅」などなどである。これらの先人達の話は何度読んでも面白い。特に、自分自身が体験した場面に出会うと、たいへん懐かしい。そんなところから、海外旅行で再度訪れてみたい所が、アルプスとヒマラヤに収斂されてきたようである。「年寄の冷や水」にならないよう、身体を鍛えて実現したい心境である。

四月九日、まさに春酣。前々から考えていた「鉄塔めぐり」に出掛けた。歩いたコースは皿ヶ峯から中山越えの分岐に出て、送電線「筆山支線」の鉄塔2号、3号、1号と廻って潮江の高見に下りた。いたるところ満開の桜であった。この「鉄塔めぐり」については購読を述べる。利点の一つは標識が完備されていることである。辻々に立てられた白塗りのアンケルに鉄塔番号と矢印が明示されているし、保線用の通路は整備されて歩きやすい。鉄塔の設置場所は眺望

のよい所が多いし、周辺の草地も下刈りされ休憩場所にもつてこいである。等々、初級の山歩きに向いている。無理がきかなくなつた山歩きの選択の一つである。近回りの山は殆ど歩いているので、新しいコースを見出す必要がある。いろいろ考えているうちに、ふと思いついたのがこの「鉄塔めぐり」である。勿論、今までの登山、ハイキングでこの鉄塔を結ぶ路線はいろいろお世話になつてきたが、これからは系統的に取り組んでみようと思つている。幸いにも頼りになる専門家がいる。伊野の加藤さんである。資料や体験が蓄積されたら、まとめて報告してみることしよう。

訃報

西森元義さんが3月24日90才で逝去。謹んで冥福をお祈りします。



社会保障ミニ知識 介護保険の大改悪

政府の「見直しの視点」

本音はサービスの抑制と負担増

三つの視点

- ①制度の「持続可能性」をはかるため、「給付の効率化・重点化」を思い切っすすめる
- ②「予防重視型システム」へ転換する
- ③※「社会保障の総合化」として、社会保障制度全体を効率的・効果的な体系へ見直す
具体的には
 - ①軽度要介護者へのサービス制限、または切り捨てられ
 - ②施設入所者の居住費や食費が全額自己負担になります
 - ③保険料が五〇〇〇〇円に引き上げられます
 - ④老人健診や福祉事業まで介護保険に吸収

旅

ペルー世界遺産紀行

渡部 怜子

謎に包まれたインカの遺跡を巡る旅に友人二人と出発。ロス経由でペルーへ。日本との時差十四時間、約十八時間のフライトだ。

首都リマはコロンアルな建物と緑の美しい街で、旧市街はユネスコ世界遺産に登録されている。砂漠に造られた街なので毎日人の手が入らないと何も育たない不毛の地。だから緑が豊かな象徴だ。そう、緑に覆われた高級住宅地と町外れの日干し煉瓦の殺風景な街並を比べて一寸複雑な思いがした。

標高三三六〇米のクスコはインカ帝国の首都だった街。日干し煉瓦で統一された街並はコロニアル建築とインカの石組みが見事に融合している。インカの神殿や宮殿の礎石の上に侵略者スペイン人が造った教会や邸宅がそれなりの調和を見せているのだ。巨大且つ精緻な石組(十二角の石)と対極の1cmと1.5cmの最小の石組にインカの石工の心意気と遊び心を見せられてフームと唸ってしまつた。空中都市マチュピチュは九十九

⑤地域密着型サービスで基盤整備を自治体に丸なげしませす。

介護保険は、給付されない部分(上限を超えた分など)を本人が自由に「買って」付け足せる制度(混合介護)です。切り捨てられたホームヘルプサービスなどは、本当に必要ななら自分で「買え」と言うのが、今回の改悪のねらいのようです。

こうした「買う」対象に介護予防、老人健診や健康相談などの高齢者福祉・公衆衛生を組み込んでしまおうという計画も明らかになっています。「負担なければ給付なし」という保険制度の悪い面を高齢者福祉全体に広げようというものです。お金のあるなしで差別が生じるのでは、社会保障制度とはいえません。



折れの山道を登り詰めると忽然と現れる。周知の遺跡なのにやはり息をのむ。周囲は断崖。雪崩落ちる急斜面一面に広がる段々畑の上に神殿を中心に宮殿や住宅地、墓がつくられている。来てよかつた「ネ」を連発。約二時間の観光時間はアツと言つ間に終わった。

富士山より高所にあるチチカカ湖に浮かぶウロス島は、島も家も舟もトラと呼ばれる葦で作られている。四十ほどの浮き島はかつては忘れ去られた島だったが、フジモリ大統領が自費で、衛星電話ソーラーシステム、小学校を造ったそう。彼は学校を各地に三千校も造り、テロ撲滅、国境問題解決等かなりの成果を挙げたのに、アメリカ介入を拒否したため失脚させられたと大憤慨の添乗員の弁

最終目的地のナスカの地上絵は朝一番のフライトで、太陽光線が斜めに射す最良の時間帯だった。宇宙人、猿、犬、コンドル、クモ、ハチドリにお馴染みの地上絵が次々と現れ、夢中でシャッターを切った。

駆け足の九日間は、原稿用紙二枚には収め切れない充実した旅立った。

ホップという楽園

山本 景子

三年前、ふらつと「知的障害者の作業所」に寄つた。そこで「表現活動」を手伝ってみようかと思つたからだ。

この「ホップあき」と名付けられた作業所には、養護学校を卒業した十八歳以上の男女が十八名が働いている。十八名中十三名が知的重度と言われ、自由な発言が出来ない、トイレ・着替への介助が必要な人もいる。それでも月五万円位は収入を得る。「働く」喜びの大切な所である。障害を持つ子ども親たちが自力で設立したのだ。

ここ二週の日、芸術活動を楽しんでいる。三年も経過すると彼らは見事に表現者として能力を発揮しはじめた。すでに舞台にも六回以上登った。人気者となって舞台を待つてくれるようになって来ている。

芸術は即興からというくらい直観の動きや色や形など見つけ出すのが大切なのだが、それをうまく指導しているのが、後藤真知世と言う社会教育指導者である。癖とも見える動きを表現にまで高める優れた指導力を持つている。彼女と一緒に「ホップあき」の障害者と言われている人々と、素敵な表現をし、ばらけ続けているのである。「あんなことできんわ」と言っていた保護者たちも、今はすっかり表現者になり、中芸高校の古い卒業生も二名加わって夏・冬のコンサート表現を楽しみにしている。

人生まさかこんなことはあり得ないだろうと思えることも実現するのだと、「知的障害」と言われる人々と人生を楽しんでいる。「ホップあき」はまことに幸せな作業所である。

ふらつと入り込んだ「ホップあき」の小さな無認可の作業所にも荒々しい波が押し入り始めている。行革の下で弱き者を排除しようとしているのである。「ホップの碧」を保護者と一緒に守ろうといつしか私は決意してしまつていた。いい年をしてという声も私の横を通り過ぎて行つて、楽園にいる気分のある。

「ホップあき」の応援団になってください。お電話をお待ちしています。

(山本景子 0887・35・7975)

相撲ミニ知識(六十四)

林 勤



相撲界の貢献者

花田ききさん

45代横綱若乃花は、44代横綱栃錦と並んで、相撲史上に残る「若黄金時代」を築いた。

若乃花は十人兄弟の長男で、小学校を終えた年から父親と共に室蘭港で石炭積み込み等に従事し、大人の二人前くらいの働きで、家計を支えていた。昭和二十一年十八歳のとき入門を勧められたが、前述のような家庭の事情で、父親は当然しぶつたが、母親・ききさんが説得して入門することになった。

夫弟の貴ノ花は、中学時代に百バタフライで一分五秒一の中学新記録を出し昭和四十三年・メキシコオリンピックのメダル候補と期待されていた。だが「水泳じゃメシが食えない」と兄に弟子入りを申し出た。「オレと同じ苦労はさせたくない」という兄・若乃花を母親が説き伏せた。

貴ノ花は優勝二回を飾り、大関在位史上最長の五十場所を数え、「炎の大関」と言われ、その時代を彩った。

貴ノ花の結婚の際、周囲の反対を押し切つてゴールインさせるにも母親・ききさんが一役買っている。この結果、史上初の兄弟横綱貴乃花と若乃花が生まれ、両力士は平成初頭の十年間、大相撲を支えた。

ここに掲げた四人の力士がこれ程の力士になったのは、言うまでもなく当人の努力、精進の結果であるが、その誕生には「花田ききさん」が大きな役割を演じていることは見逃せない。またきびしい勝負の世界に生きる四人の心の寄り所、太陽的存在であったと言おう。「実子に横綱と大関、孫に二人の横綱」を出した花田ききさん、戦後の大相撲界の大きな陰の貢献者ではなからうか。平成十三年八月五日没。九十二歳。合掌。なお、平成八年に生地・五所川原市錦町の久須志神社に「花田きき殿を称える碑」が建立されている。